

白色の発泡スチロール製食品用トレイの再商品化について

白色の発泡スチロール製食品用トレイ(以下「白色トレイ」という。)は、平成12年度より再商品化が開始されて以降、他のプラスチック製容器包装と異なる区分での分別収集が実施されている。材料リサイクル手法により再商品化が行われているが、異物等の混入が少なく、また、単一素材であることから引取量に占める再商品化量の割合も高い水準で推移してきている。再商品化製品についても、再び白色トレイ用の発泡ポリスチレンシートとして用いられるなど付加価値の高い用途に利用されている。再商品化の落札単価については、平成17年度には平成12年度の1/2以下となっている。(平成18年度:41,600円/トン、平成19年度:43,700円/トン)

(白色トレイの再商品化量、落札単価等の推移)

年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17
引取量<A>(トン)	657	987	1,045	1,160	1,126	972
再商品化量(トン)	533	872	924	1,022	1,023	889
/<A>	81.1%	88.3%	88.4%	88.1%	90.9%	91.5%
落札単価(円/トン)	121,600	99,600	77,100	78,900	65,500	58,300

(出典:財団法人日本容器包装リサイクル協会データ)